

同窓会報

同窓会長あいさつ

同窓会長 鈴木 守



盛夏の候、同窓会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。支部役員の皆様には平成十二年の創立五十周年に向けまして、ご繁忙の中、募金活動にご助力頂いております。紙面をお借りしまして募金にご協力いただき、役員の方々に敬意を表するとともに、お礼申し上げます。

農高の「同窓会活動」に寄せて

校長 稲熊 良彦



農高の同窓生各位には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本校にお世話になって最初に感じた疑問は「どうして、同窓会に支部組織がないのだろうか。数年後には半世紀の歴史と伝統を記念する周年事業計画があるのに……」でした。そこで、同窓会の役員会で規約の全面的な見直しと支部組織作りをお願いしました。

す。また地元関連の企業・団体の皆様にも多額の賛助金を頂き、同窓会名簿への広告協賛のご協力を頂いております。ことを心よりお礼申し上げます。

さて、創立五十周年記念事業の一つであります。国際交流事業のオランダ王国フルンネデルタ カレッジとの姉妹校協定に基づき、本校生徒・職員は派遣につきまして、五月三十一日より六月十日までの日程で多大な成果を収め無事帰国しました。篠原博通前同窓会長、中神重彦前同窓会事務局長、伊藤幸伸PTA会長、鈴木敏夫PTA副会長様には、ご多忙の中、引率団にご参加頂きましたことを紙面をおかりしてお礼申し上げます。またフルンネデルタカレッジの生徒十一名と職員三名が本年十一月一日に来日との連絡を頂いております。

特に、鈴木会長様を始め多くの役員の皆様方には、本校積年の同窓会活動の在り方を慎重に審議頂き、最終的なご英断をいただきました。「同窓会は何処の学校にもある。そして、同窓会活動は支部組織の拡大と活性化にかかっている。終には、その学校の存続の成否を決める」とは、小生が周年事業で奔走した時の同窓会長さんから承った言葉で、今も尚、私の耳の奥に残って離れません。どうか、支部組織を完成して頂きたいと切望して止みません。本校卒業生の大半が渥美郡内・外に在住する状況から、必ずや、支部組織は全同窓生の皆様の活動拠点と心の拠り所になると確信します。たいと願っています。最後に、同窓会支部活動として、創立五十周年記念事業の募金活動に特段のご尽力と

発行 愛知県立渥美農業高等学校 同窓会事務局
TEL 053121210406
FAX 053121216462

五十周年記念誌 原稿募集

記念誌に掲載する「思い出の記」を募集します。
字数 六〇〇字程度
内容 学生時代の思い出、心に残っている出来事、農高への思いなど自由
しめきり 十二月二十一日
同窓会事務局記念誌部までお送り下さい。

ご協力を頂き、心から厚くお礼申し上げます。

【太陽光発電】

太陽光発電装置(京セラ社)は、多結晶シリコン太陽電池モジュール一枚あたりの発電量が約一〇八w、三〇枚のモジュールで最高発電量は約四、四kwです。七月二十八日現在の総発電量は九〇〇kwです。電気は温室内の環境制御盤や照明等に利用されています。なお温室内の電気が発電されているときは、校内の何処かで使用されるシステムになっています。



ソーラーシステム

【ロックウール耕温室 及び土耕温室の新築】

新しいロックウール耕温室及び土耕温室は、棟間がそれぞれ暖房機や制御盤等の装置は別々で、中仕切りもありません。従って、機能的には独立しており、単棟温室としても利用が可能です。面積は各々三六〇㎡で、現在ロックウール耕温室では温室メロン品種「テムス」「雅」、土耕温室では「雅」を栽培しています。



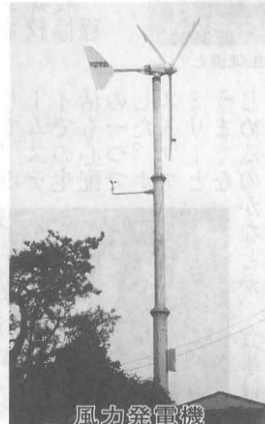
ハイブリッド温室

クリーンエネルギーを利用した温室の完成

現在、私達の生活環境問題が地球規模で論議されています。農業においても「地球にやさしい農業」という言葉がさかんに使われるようになり、周囲の目にも敵しいものがあります。地球環境貢献農業農村整備事業計画調査(東海農政局)においては、平成七年に渥美半島もその調査対象になりました。こういう時期に、本校で、風力・太陽エネルギーを動力源とした温室が建築されたことは、意義あることだと思います。

【風力発電】

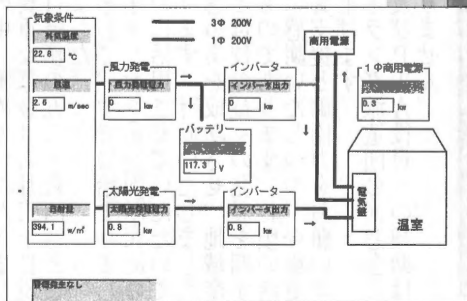
風力発電装置(オーストラリアのウエストウインド社)はタワーの高さ一五m、翼の直径七mの三枚アップウインド型。風速四m/sから発電を開始し、最高発電量は風速一三・五m/sで三相交流一〇kwです。渥美半島の平均風速は五・六m/sでのこの時の発電量は約三・四kw程度です。発電した電気はバッテリー



風力発電機

に一旦蓄えられ、一定量以上に蓄電されると温室内の主に動力機械(天窓やカーテンの開閉、ボイラー、消毒機など)に使用されます。

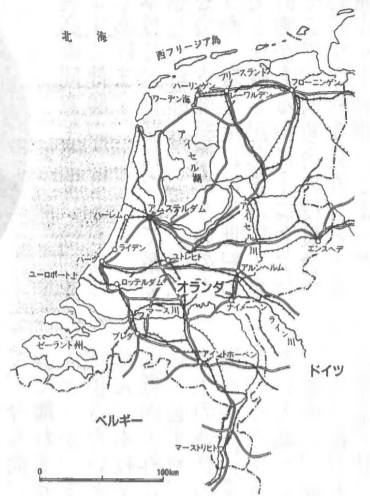
以上のように風力・ソーラーエネルギーの利用、温室の構造、養液管理システム、複合環境制御等の施設・設備が充実され、またこれらに対する生徒の関心も非常に高く、今後のプロジェクト活動が期待できます。



集中制御室

②自動消毒 農業において薬剤散布は健康管理の上でも大きな問題です。温室内の消毒は無人で行えます。
③温室内外複合環境制御 温室内外の温度、湿度、二酸化炭素濃度等をセンサーでとらえ、窓やカーテンの開閉・暖房機・換気扇・細霧装置などを自動で制御し、温室内外を最適な環境に保ちます。
④監視システム 温室内には監視コンピュータがあり、1年分の気象データ(風速、日射量、外気温)、風力発電データ、太陽光発電データの保存が行われています。

オランダ王国概要



オランダ王国
(Kingdom of the Netherlands)
首都 アムステルダム
 (人口69.5万人)
面積 40,844 K²
 (日本の約1/9)
人口 1,502万人
 (日本の約1/8)
都市 ロッテルダム、ハーグ、
 ユトレヒト、ライデン
国民総生産 2,788億ドル(91年)
言語 オランダ語(公用語)
民族 ゲルマン系オランダ人
 (97%)
宗教 プロテスタント25%・
 カトリック32%・無宗教
通貨 ギルダ(100セント)
産業 酪農(乳製品、肉類)、
 園芸(切花、球根、野菜)
 水産業、工業(粗鋼、
 ナフサ、近代精密工業)

行程表

- 6/1(月)GDCで開校式
アムステルダム見物
- 6/2(火)アールスメイア花市場、ラン農家見学 GDCでフラワーアレンジメント実習
- 6/3(水)GDCでガーデニング実習 造園協会モデル庭園見学
- 6/4(木)観葉植物農家、ガーデンセンター、大学植物園見学 GDCで授業(語学・経済)
- 6/5(金)樹木センター見学、グリーンカレッジ訪問 GDCで交流の反省と報告会の準備
- 6/6(土)GDCでお別れ会 パリへ
- 6/7(日)パリ観光等
- 6/8(月)パリからアムステルダムへ 美術館、木靴製造、風車見学
- 6/9(火)スキポール空港発
- 6/10(水)名古屋着



アムステルダムの風車前で派遣団員

(オランダ派遣速報)

第二回オランダ王国フルンネデルタカレッジ訪問を終えて

教頭 中村 勝
 去る、五月三十一日から六月十日まで鈴木守団長、伊藤幸伸副団長のもと同窓会から篠原氏、中神氏、PTA副会長鈴木氏の同行をうけ、第一回姉妹校訪問に十名の生徒を派遣しました。学校からは田中昭弘教諭と私が引率いたしました。

フルンネデルタカレッジのウースフェースト校とライスワイク校の生徒と日本の生徒がペアとなり授業や実習、見学をその生徒宅にホームステイをいたしました。細かい日程と早朝から夜まで計画がなされ、事前準備をしっかりとされ初めての日本との交流に寄せる期待が伝わってきました。

国際交流は初めてのことであり、色々と大変なことがあったけれど、実習は楽しかったし、見学もためになるようなところばかりで、またすばらしいものに出会えました。このように感想を述べておきます。

オランダは広くどこまでも平気が広がって、建物がレンガでできていました。木を育てていく所などを見学しました。

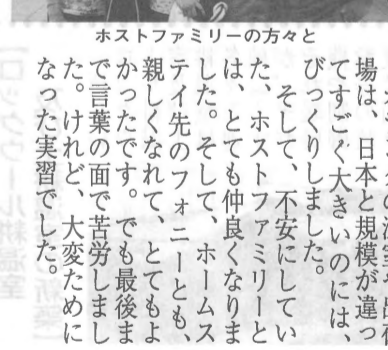
完璧な英語でなくても、単語をつなげていけば、向こうの人は理解してくれました。家族は温かく包みこんでくれた。今度日本に来たときは、日本を好きになつて帰って欲しいです。



ウーストフェースト校前でオランダの生徒達と

三A 葉山 幸恵
 私は、海外に行くなんてまだまだです。先の話だと思つていました。一九九七年一月二十日に渥美農業高等学校と、フルンネデルタカレッジとが姉妹校協定を結びました。姉妹校協定した時は、「すごいな」程度に思っていました。

オランダの温室や出荷場は、日本と規模が違つてすごく大きいのは、びっくりしました。そして、不安にしていた、ホストファミリーとは、とても仲良くなりました。そして、ホームステイ先のフォニーとも、親しくなれて、とてもよかったです。でも最後まで言葉の面で苦労しました。けれど、大変になりました。



ホストファミリーの方々と



フラワーアレンジメント実習の作品評価

オランダは、広くどこまでも平気が広がって、建物がレンガでできていました。木を育てていく所などを見学しました。



アールスメイア花市場にて

募金活動中間報告

本校同窓会ならびにPTA会員をはじめ地域の皆様には、五十周年記念事業の募金活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、地区役員の方にご多忙の中、集めていただきました貴重な募金は六月三十日現在目標額の五二・六四%となりました。

同窓会総会報告

平成十年度 同窓会定期総会
 平成十年五月二十三日土曜日の午後二時から、渥美農業高等学校の会議室を会場として同窓会定期総会が開催されました。内容については、以下の通りですが、終始和気あいあいとしたムードと、活発な意見交換が繰り返され、渥美農業高校の今後の発展を願う気持ちの伝わりが感じられました。

- 協議事項**
- 第一号議案 平成九年度事業経過報告
 - 第二号議案 平成九年度資産明細報告
 - 第三号議案 平成九年度一般会計決算報告
 - 第四号議案 平成十年事業計画案
 - 第五号議案 平成十年予算案
- 報告事項**
- 五十周年記念事業関係
 - 平成十年度国際交流について
 - 学校正門の新築について
 - 体育館の改造について
 - 綴帳の更新について
- 連絡事項**
- 広告協賛の依頼について
- 長時間に渡る協議ご苦労様でした。